

臨床研究へのご協力をお願い

乳癌再発高リスク患者に対する

術後補助療法としてのアベマシクリブの忍容性の検討

(研究目的)

乳癌の再発高リスク患者さんに対しては、術後の治療としてアベマシクリブの内服が行われています。副作用を分析し、今後の副作用の管理に役立てることを目的としています。

(研究対象)

2022年1月以降に当院で術後の治療としてアベマシクリブを開始した乳癌患者さんを対象としています。

(研究期間)

松江市立病院倫理委員会で承認後～。

(研究方法)

本研究は、下記の医療機関による多施設共同研究です。診療記録や病理結果などを分析していきます。

<記>

研究責任者：松江赤十字病院 乳腺外科 大谷 麻 医師

研究協力者：

松江市立病院 乳腺・内分泌外科 内田 尚孝 医師

島根大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科 板倉 正幸 医師

島根県立中央病院 乳腺科 橋本 幸直 医師

鳥取大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 若原 誠 医師

鳥取県立厚生病院 胸部外科 大田 里香子

(情報の保管・管理)

研究データは、松江市立病院内で厳重に保管するとともに、本研究の代表者である松江赤十字病院 乳腺外科 大谷麻医師に提供します。

(利益相反)

なし。

(研究成果の公表)

研究成果は、日本乳癌学会等の学会や論文によって発表する予定です。

(問い合わせ先)

研究への協力を希望されない場合は、下記問い合わせ先まで連絡をお願いします。

松江市立病院

乳腺・内分泌外科 内田尚孝

電話：0852-60-8000